

要 望

平素から長野県木曽地域の振興のため、格別なるご尽力を賜り、衷心より感謝申し上げます。

本地域は、少子高齢化や若年層の都市部流出等による人口減少が進行し、自治体財政も一段と厳しさが増す中、道路網の整備、地場産業の振興、観光振興対策、生活環境の整備等、多くの課題を抱えております。

このような状況の中、地域住民が豊かさゆとりを実感できる安心安全な地域づくりを進め、将来にわたり住民の期待に応える十分な機能を構築する努力をしているところであります。

貴職におかれましては、私ども長野県木曽地域の実情をご賢察いただき、一般国道 19 号整備促進に関する別記事項の実現・実施が図られますよう格段のご高配を賜りたく、ここに要望申しあげます。

令和 2 年 9 月 23 日

木曽地域交通網対策協議会

会 長 瀬戸 普

木曽地域国道 19 号整備促進期成同盟会部会

部会長 唐澤 一寛

木曽郡町村議会議長会

会 長 古畑 節行

木曽地域一般国道 19 号整備促進について

木曽谷を縦貫する一般国道 19 号は、愛知県名古屋市から岐阜県を通り長野県長野市に至る延長約 270km に及び、そのうち 82.6km を占める長野県の木曽地域区間は観光・物流ネットワークにおける主要な広域幹線道路であるとともに、通勤・通学・通院・買い物といった木曽谷住民の生活道路として最も重要な社会基盤です。

木曽谷は山間地に位置しているため医療機関も少なく、主要医療機関の県立木曽病院への連絡は国道 19 号が全てであり「命の道」として極めて重要な路線です。また、大規模災害等の発生時には緊急輸送路としても重要な役割を担うものです。

しかしながら、線形不良による交通渋滞や視距不良のカーブが多く、更に大型車の混入率も高いために交通災害や事故などによる度重なる渋滞や通行止めを余儀なくされるなど、地域住民やこの地を訪れる観光客にとっても大きな不安要因となっており沿線住民の安全確保や危機管理の面からも早期整備が望まれています。

つきましては、住民の生活に安全と安心をもたらし、産業の振興等地域の活性化を図るために、次の事項について実現、実施されるよう要望いたします。

記

1. 道路整備のための予算確保

西日本豪雨災害等を受けた道路ネットワークの更なる強靱化に向けた防災・減災対策や、交通安全対策事業により、安全・安心の確保と経済の好循環を図られ、産業面・観光面等のストック効果を更に高めるとともに、急速に老朽化が進む道路構造物等の維持管理・更新を長期安定的に推進するため、新たな財源創設の検討をするとともに、これらに必要な道路事業全体の予算及び令和 3 年度当初予算の所要額を確保すること。

2. 国道 19 号（重要物流道路）の整備促進

安心・安全な道を確保し、物流網強化や観光産業活動活性化等のストック効果を高めるため、以下の改良事業等を推進すること。

- ・塩尻市 桜沢改良の早期完成
- ・塩尻市 平沢地区交差点改良の早期完成
- ・木祖村 藪原地籍の雨量規制解消のための改良事業の整備促進
- ・木曽町 山吹橋のバイパスとして伊那木曽連絡道路の重要物流道路指定および姥神峠道路の延伸に向けた事業促進の支援
- ・上松町 棧地区歩道設置の早期完成
- ・大桑村 伊奈川橋交差点改良の早期完成
- ・大桑村 野尻地区交差点改良の早期完成
- ・南木曽町 神戸地区視距改良の早期完成
- ・雨量規制区間の解消を含め、長野・岐阜県境部における道路改良の調査、検討

要 望

平素から長野県木曽地域の振興のため、格別なるご尽力を賜り、衷心より感謝申し上げます。

本地域は、少子高齢化や若年層の都市部流出等による人口減少が進行し、自治体財政も一段と厳しさが増す中、道路網の整備、地場産業の振興、観光振興対策、生活環境の整備等、多くの課題を抱えております。

このような状況の中、地域住民が豊かさとゆとりを実感できる安心安全な地域づくりを進め、将来にわたり住民の期待に応える十分な機能を構築する努力をしているところであります。

貴職におかれましては、私ども長野県木曽地域の実情をご賢察いただき、一般国道 19 号整備促進に関する別記事項の実現・実施が図られますよう格段のご高配を賜りたく、ここに要望申し上げます。

令和 2 年 1 1 月 1 9 日

木曽地域交通網対策協議会

会 長 瀬 戸 普

木曽地域国道 19 号整備促進期成同盟会部会

部会長 唐 澤 一 寛

木曽郡町村議会議長会

会 長 古 畑 節 行

木曽地域一般国道 19 号整備促進について

木曽谷を縦貫する一般国道 19 号は、愛知県名古屋市から岐阜県を通り長野県長野市に至る延長約 270km に及び、そのうち 82.6km を占める長野県の木曽地域区間は観光・物流ネットワークにおける主要な広域幹線道路であるとともに、通勤・通学・通院・買い物といった木曽谷住民の生活道路として最も重要な社会基盤です。

木曽谷は山間地に位置しているため医療機関も少なく、主要医療機関の県立木曽病院への連絡は国道 19 号が全てであり「命の道」として極めて重要な路線です。また、大規模災害等の発生時には緊急輸送路としても重要な役割を担うものです。

しかしながら、線形不良による交通渋滞や視距不良のカーブが多く、更に大型車の混入率も高いために交通災害や事故などによる度重なる渋滞や通行止めを余儀なくされるなど、地域住民やこの地を訪れる観光客にとっても大きな不安要因となっており沿線住民の安全確保や危機管理の面からも早期整備が望まれています。

つきましては、住民の生活に安全と安心をもたらし、産業の振興等地域の活性化を図るために、次の事項について実現、実施されるよう要望いたします。

記

1. 道路整備のための予算確保

7月の豪雨災害を受け、勃発する大規模自然災害への対応と、真に必要なとなる道路整備や安定的な管理の実施に向けて「防災・減災・国土強靱化のための3か年緊急対策」の終了後においても、五カ年計画を策定し、道路ネットワーク整備と社会インフラの老朽化を含めた、国土強靱化に基づく防災・減災のための予算を確保すること。

2. 国道19号（重要物流道路）の整備促進

安心・安全な道を確保し、物流網強化や観光産業活動活性化等のストック効果を高めるため、以下の改良事業等を推進すること。

- ・塩尻市 桜沢改良の早期完成
- ・塩尻市 平沢地区交差点改良の早期完成
- ・木祖村 藪原地籍の雨量規制解消のための改良事業の整備促進
- ・木曾町 山吹橋のバイパスとして伊那木曾連絡道路の重要物流道路指定
および姥神峠道路の延伸に向けた事業促進の支援
- ・上松町 棧地区歩道設置の早期完成
- ・大桑村 伊奈川橋交差点改良の早期完成
- ・大桑村 野尻地区交差点改良の早期完成
- ・南木曾町 神戸地区視距改良の早期完成
- ・雨量規制区間の解消を含め、長野・岐阜県境部における道路改良の調査、検討